

第4章 目黒区環境マネジメントシステムの取組み

事業者等が自主的に環境保全に関する取組みを進めるにあたり、環境方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくための仕組みを「環境マネジメントシステム」といいます。本章では、目黒区の環境マネジメントシステムである「目黒区地球温暖化対策推進第二次実行計画（めぐろエコ・プランⅡ）」における2014（平成26）年度の取組み実績と、取組みに対する評価について報告します。

目黒区地球温暖化対策推進第二次実行計画（めぐろエコ・プランⅡ） ～低炭素社会実現に向けた目黒区率先行動計画～

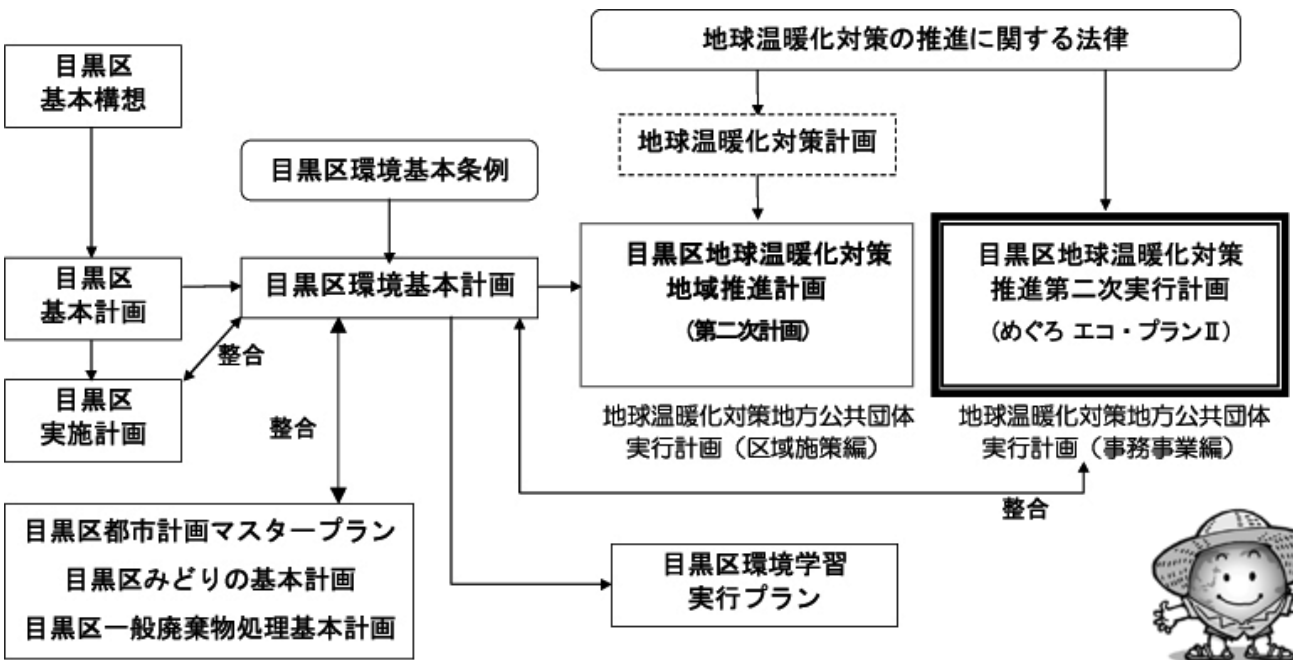
区は、最も身近な自治体として、また区内における大規模な事業所の1つとして、率先して地球温暖化対策に取り組んでいます。

2009（平成21）年4月には、それまで取り組んできた「ISO14001¹」と「新エコ・アクションプログラムめぐろⅡ²」を発展的に解消し、区有施設のすべてを対象とした「目黒区地球温暖化対策推進実行計画（めぐろエコ・プラン）」を策定し、2014（平成26）年3月に第二次実行計画として改定しました。

この計画は、低炭素社会実現に向けた温室効果ガス排出量を削減するための総合的な仕組みであるとともに、循環型社会実現に向けた環境負荷低減に資する取組みの推進を図るもので、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第20条の3第1項に規定する「地方公共団体



＜めぐろエコ・プランⅡ ポケットブック＞



＜目黒区地球温暖化対策推進第二次実行計画（めぐろエコ・プランⅡ）の位置づけ＞

¹ ISO14001：環境に関する国際標準規格。

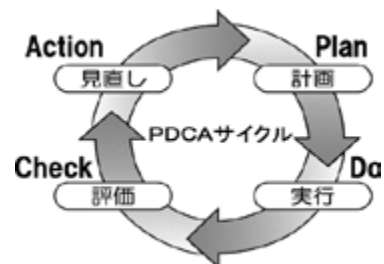
² 新エコ・アクションプログラムめぐろⅡ：2006（平成18）年3月に策定した目黒区独自の「地球温暖化対策推進地方公共団体実行計画」。



「目黒区地球温暖化対策推進第二次実行計画（めぐろエコ・プランⅡ）」

- [目 標] 区の事務事業に伴って排出される温室効果ガス排出量・エネルギー使用量を、2012（平成24）年度を基準として、目標年度の2018（平成30）年度において5%以上削減します。
- [期 間] 2014（平成26）年度から2018（平成30）年度までの5年間
- [対象範囲] 総合庁舎、庁外施設等を含めた区有施設のすべて
（ただし、区営住宅等個別の利用者が光熱水費を負担している施設は除く）
- [取 組 み]
- ・大規模施設における省エネルギー活動の推進
 - ・小規模施設における事業特性を活かした省エネルギー活動の推進
 - ・日常業務でのエコオフィス活動の推進
 - ・省エネルギー機器の段階的導入
 - ・新築、改築、改修時における省エネルギー・再生可能エネルギー設備等の導入等
 - ・低燃費車の導入
 - ・温室効果ガス吸収作用の保全・創出
- [管理対象]
- ①温室効果ガス排出量の算定対象項目（重点管理対象）
 - ・電気、ガス、水道（下水道）の使用量（清掃工場等の他の施設からの熱等の供給を含む）
 - ・化石燃料の使用量（ガソリン、LPG、軽油、灯油、重油、LPG（プロパンガス）の使用量）
 - ②温室効果ガス排出量の算定対象項目以外の管理対象
 - ・用紙の購入量（使用量）
 - ・ごみの排出量
 - ・グリーン購入の推進
 - ・緑化の量（緑化面積）
 - ・省エネルギー機器等の導入量
 - ・低燃費車等の導入実績

本計画では、Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（見直し）のPDCAサイクルによるマネジメントシステムを活用し、組織的な進行管理と継続的改善を行います。



2014（平成26）年度の取組み結果

区有施設のすべてを対象として、低炭素社会実現に向けた総合的な温室効果ガスの削減と循環型社会実現に向けたエネルギー使用量の削減やごみの減量等環境負荷の低減の取組みを進めました。

● 温室効果ガス排出量・エネルギー使用量の削減

■ 温室効果ガス排出量・エネルギー使用量の状況

節電対策や省エネルギー機器の導入に取り組んだことにより、温室効果ガス（二酸化炭素換算）排出量原単位は、2012（平成24）年度（基準値）と比較して0.5%の減少となりました。また、エネルギー（原油換算）使用量原単位は、2012（平成24）年度（基準年）と比較して0.6%の減少となりました。

温室効果ガス（二酸化炭素換算）総排出量について排出源別に見ると、電気（65.9%）、次いで都市ガス（28.2%）となっており、上位2項目で94%を占めています。このことから、温室効果ガスの排出量の削減には、電気・ガスの使用量を削減することが重要であるといえます。



<温室効果ガス（二酸化炭素換算）排出量原単位>

	2012（平成24）年度 （基準年）	2014（平成26）年度
排出量原単位 （単位：t-CO ₂ /千㎡）	43.071	42.850
対基準年度比		-0.5%

<エネルギー（原油換算）使用量原単位>

	2012（平成24）年度 （基準年）	2014（平成26）年度
使用量原単位 （単位：KL/千㎡）	23.415	23.281
対基準年度比		-0.6%

<電気、都市ガス、水道、下水道、ガソリンの使用量内訳>

区分	2012 （平成24） 年度 （基準年）	2013 （平成25） 年度	2014 （平成26） 年度	対基準年度比
電 気（千 kWh）	32,081	32,661	32,041	-0.1%
都市ガス（千 m ³ ）	2,862	2,842	2,703	-5.6%
水 道（千 m ³ ）	793	816	778	-1.9%
下 水 道（千 m ³ ）	799	815	785	-1.8%
ガソリン（千ℓ）	38	48	36	-5.3%

* ガソリンは使用量ではなく購入量

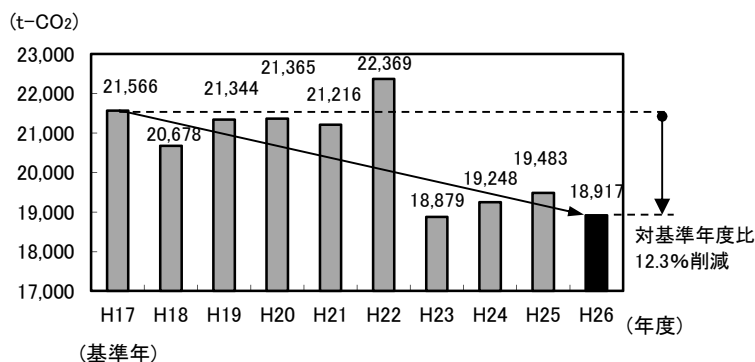


トピックス

温室効果ガス排出量の推移
（前計画との比較）

めぐろエコ・プランIIでは、温室効果ガス総排出量・エネルギー総使用量を区有施設の総延べ床面積で割った「千㎡あたり」の原単位により削減率を計算しています。そのため、温室効果ガス排出量については、第一次実行計画の基準年度2005（平成17）年度との比較も行います。

<温室効果ガス排出量の推移>



■ 温室効果ガス削減に向けた取組み

◆ 省エネルギー・再生可能エネルギー設備の導入

2014（平成26）年度も2013（平成25）年度に引き続き、区有施設において、改修時に省エネ性能の高い照明や空調機等の省エネルギー機器の導入等を行いました。

施設の新築・改築・改修時における省エネルギー・再生可能エネルギー設備の導入等

施設名	導入した省エネルギー・再生可能エネルギー機器
中目黒スクエア	高効率パッケージエアコン
駒場体育館	高効率パッケージエアコン
特別養護老人ホーム東が丘	高効率パッケージエアコン
上目黒老人いこいの家	高効率パッケージエアコン
南部地区センター目黒本町保育園	高効率パッケージエアコン、集中管理コントローラー
守屋図書館	高効率パッケージエアコン、集中管理コントローラー
下目黒住区センター	LED照明、LED誘導灯、高効率パッケージエアコン、集中管理コントローラー
大橋えのき園	LED照明、LED誘導灯
すすくのびのび園	LED照明
田道ふれあい館	LED照明、LED誘導灯
スマイルプラザ中央町	LED照明
ハヶ岳林間学園	LED照明、節水器具
碑小学校	建築：日射遮蔽（庇）
烏森小学校	LED照明
五本木小学校	LED照明
駒場小学校	LED照明、人感センサー
原町小学校	節水器具、トイレの擬音装置
中根小学校	LED照明
第三中学校	LED照明、LED誘導灯、人感センサー、節水器具
東山中学校	LED照明
目黒中央中学校	LED照明

* LED照明は、ベースライト、ダウンライト、高天井器具、外構を含みます。

◆ 緑化の推進

温室効果ガスの吸収作用の保全・創出を図るために、区有施設の改修時等に緑化を行いました。

2014（平成26）年度は、3施設に計3,795m²実施しました。

施設名	緑化形式	緑化面積
東根公園	樹木・草地緑化	2,866m ²
自由が丘公園	樹木・草地緑化	753m ²
大岡山児童遊園	樹木・草地緑化	176m ²
合計		3,795m ²

* 緑化面積は、小数点以下四捨五入

◆ 啓発等

職員を対象とした環境研修の実施（開催3回、参加人数73人）や啓発ポスターの作成・掲示を行うことで、職員の意識啓発を図りました。また、エコオフィス活動や地球温暖化対策の関連情報をわかりやすく提供する「めぐろエコ・プラン通信」を作成して、庁内メールで発信しました。

● 環境負荷の低減に向けた取組み

■ ごみの排出量と紙の使用量

「ごみの排出量」と「紙の使用量」は、前年度以下に減らすことを目標としています。2014（平成26）年度は、2013（平成25）年度と比較すると、紙の使用量は減少しましたが、ごみの排出量は増加し、目標を達成することができませんでした。

＜ごみの排出量＞

（単位：t）

区分	2011 （平成23） 年度	2012 （平成24） 年度	2013 （平成25） 年度	2014 （平成26） 年度	対前年度比	
排出量	1,218	1,268	1,174	1,265	+7.8%	
内訳	燃やすごみ	1,031	1,077	1,003	1,068	+6.5%
	燃やさないごみ	149	166	148	172	+16.2%
	資源	38	25	23	25	+8.7%

＜紙の使用量＞

（単位：万枚）

区分	2011 （平成23） 年度	2012 （平成24） 年度	2013 （平成25） 年度	2014 （平成26） 年度	対前年度比
用紙の購入量	4,517	4,429	4,217	4,100	-2.8%
外注印刷物	5,267	5,232	5,211	4,271	-18.0%

* 紙はA4サイズに換算しています。

2014（平成26）年度の取組み結果に対する評価

区民と学識経験者からなる第三者評価委員会が、めぐろエコ・プランⅡの2014（平成26）年度取組み結果について評価しました。評価結果を踏まえ、今後も環境負荷の低減に努めていきます。

（取組み全体に対する意見）

全体の取組みは進歩している。削減目標の基準年度を厳しい年度に設定するなど、前向きに取り組んでいる。各取組みの結果としての削減目標を達成するには、より効率的な達成手法の共有化が求められる。区の取組みを区民への啓発へつなげたり、補助金などを活用して設備導入を進めるなど、さらなる努力を期待する。